作成（2024 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	寺野 元規
所属機関名	工学部 機械システム工学科
職位	准教授
在籍年	7 年

教育の責任

工学部機械工学科に所属しており，加工学関連の専門科目をはじめ，卒業研究を担当している．また，学科広報委員として，オープンキャンパス等のイベント，各種広報（ガイダンス）の取り纏めを担当している．さらに 1 年チューターも担当し，学部生の学修指導も行っている．加えて，研究・社会連携機構/工作センターのセンター長を兼務しており，工作センターの管理・運営の役割も担っている．

教育の理念

私の教育の理念は「加工への興味・理解」，「社会で役立つ力の養成」の 2 つある．前者は日本のものづくりを支える加工の楽しさを知ってもらい，加工への興味・理解を持ってもらう．最終的には，加工関連企業で活躍する人財の育成を目指している．後者はチームで協働する力，コミュケーション能力，プレゼンテーション能力の向上のみでなく，メモ・ノートを取る習慣，資料をファイリングする習慣を身に着けた人財の育成を目指している．

教育の方法・方針

上記「教育の理念」に基づき，「加工学 I・II」，「創造 PBL」，「卒業研究」における教育方法・方針を述べる．

・加工学 I・II

加工学 I 受講後，加工学実習があるため，加工学 I に加工学実習の内容を集約した．つまり，加工学 I の座学で学んだことを加工学実習で体験しながら復習することが可能である．また，静止画，動画，デモなどを利用することにより，学生の理解を促す．

・創造 PBL II

チームで協働する力・コミュニケーション能力の向上を目指し，グループワークを行い，それぞれの主担当を決めて作業を行う．また，ポスター発表を行い，受講者全員に発表する機会を設け，プレゼンテーション能力の向上を目指す．さらに，資料をファイリングする習慣を身に着けられるように，グループワークでのメモをファイリングさせる．

・卒業研究

文章力を養成するため，学会講演論文，卒業研究論文・概要などの作成時に，図の選定・構成（目次）・執筆時に何度も打合せをしながら作成を進める．また，ノートを取る習慣・ファイリングする習慣を身に着けられるように，研究ノート・研究資料を定期的確認する．

教育の成果

・加工学 I・II：授業アンケートでは，加工に興味を持ってもらうための授業の工夫（静止画，動画，デモ，実物の回覧）などで評価していただいている．また，板書内容を見直したことにより，わかりやすく，目が悪い方でもわかりやすくなったとの評価を頂いた．さらに，加工学

と加工学実習との連動を考慮した内容に改善したことにより，加工学実習への興味を引き出せている．
創造 PBL II：授業アンケートでは，物を作るための「考案」,「設計」,「製作」,「評価」,「報告（発表)」を一貫して学ぶことができた，チームワークの重要さ・コミュニケーションの大切さを理解できたとの評価をいただいた．
・卒業研究：各種概要，卒業研究論文などを通し，文章記述能力の向上を図っている．卒業生から，新人教育の際に「文書がわかりやすいとの評価を頂いた」との声をいただいた．

今後の目標
学生の加工に対する興味・理解を向上させるための対策を講じる．具体的には，文章（板書）＜静止画＜動画＜デモを意識し，講義教材を充実させる．

根拠資料
・シラバス，課題，ノート（板書内容） ・授業アンケート ・岡山理科大学教育実践研究（第 5 号),「工作センターにおける機械加工実習教育への取り組み」,篠原隆，寺野元規，多田忠美，露無正治，丸山祐一，上田修治，藤原清，岡義明，仲忠司，入鹿晋作，木畑廣伸，pp.181-194（2021).